

10月27日(日)、相模原市緑区津久井地区、被災地支援活動の報告

海老名災ボラ、福田博

(1) 海老名から、相模原市緑区災害ボラセンター、津久井地区センターへ

海老名災ボラの相模原市緑区への被災地支援活動は、10月21日(月)の第1便に続き(参加者5名、乗用車1台)、10月27日(日)の第2便(参加者3名、乗用車1台)を実施した。8時に海老名市総合福祉会館前に集合し、海老名災ボラ会員の自家用車(普通車)に乗り合わせて7時55分に出発し、相模原市災害ボランティアセンター・津久井地区センターに8時40分に到着した。

近くの小学校のグラウンドが駐車場になっていた(休日のため学校は休校)ので、待つことなく駐車できた。既に、受付には20名くらいが並んで居ました。「団体受付用紙」に記入し、「受付」手続き、⇒「オリエンテーション」(簡単な説明)⇒「マッチング」(被災者ニーズとボランティア希望者を結びつける部署)に進んだ。10月21日(月)に来た時より「かなり短い時間で」マッチングまで進んだこと、ボランティアセンターのスタッフの人数も増えていることが感じられた。

マッチング・スタッフ(担当者)から、活動依頼書(泥だし作業と記載、被災者宅の地図付き)を受け取り、被災者宅毎に置かれた資機材(シャベル・土嚢袋など)を車の荷台に積みこんで被災者宅(個人の家)に向かった。

(2) 被災された方の住宅で活動：流木等の撤去、玄関から道路までの泥だし清掃

① 被災現場付近で駐車できるスペースを探す

被災者宅へは自家用車の「ナビシステム」を使って行った。被災地者宅へ入る道は狭く、適切な駐車場所を探した。被災者宅に行き、あいさつを行い、駐車場所を相談して、路上駐車することにした。

被災者宅は小河川の作る狭い谷間にあり、河川の両側は斜面(崖)になっている。この狭い道路から小河川を挟んだ対岸に被災者宅がある。被災者宅へは鉄製の小さな橋を渡って敷地内に入ることが出来る。

② 被災者宅で作業要望を聴き、作業開始

被災した高齢の婦人が、小河川(小川)をわたる鉄製の橋に台風の大雨で流されてきた流木や丸太で出来た橋が引っ掛かり、ダムのようになって、床下浸水となったこと、その時は避難所に避難していたので、助かったと話してくれました。対岸の家の高齢者がコツコツと片付け作業を手伝ってくれていることも分かった。

午前中は被災者宅の敷地内に流れ込んだ流木(丸太)や材木を一輪車で県道際の狭い空き地(被災者から指定された場所)に置きに行く作業を行った。被災者宅からは30メートルほど離れていること、県道に出るために斜面を登る必要がある場所であった。最初に被災者宅の出入口付近にある流木等を取り除き、置き場まで運んだ。

③ 木製橋の解体作業を開始したが中止し、玄関から敷地の出入口まで泥だし・清掃

再び、大雨が降れば、流木や木製の橋で、ダムのようになり、再び洪水となることが予想されたので、橋に引っ掛かっている木製橋の解体作業をバールで（会員が所持していた）始めた。作業の途中で、丸太を切るチェーンソーもなく、丸太を引き上げる重機もなく、足場も悪く、危険な作業だと分かったので、作業を中止した。ボランティアセンターに電話連絡し、センターのスタッフに現場を見てもらった。スタッフは河川管理者が行うべき作業であること、ボランティアの作業範囲を超えていること、河川管理者に連絡すると言った。午後からは、被災者宅の玄関の泥出しと清掃、玄関から宅地の出入口までの通路の泥出し・清掃を実施した。

④ 津久井地区センターに戻って帰着報告を行い、海老名に帰った

津久井地区センターに3時40分頃に戻り、帰着報告を終えた。ボラセンターで、地元の料理店が屋台車で来ている「うどん」や「ラーメンを」ご馳走になった。私たちが10月21日にきた時よりも、災害ボラセンターの運営が順調に推移して来たことを感じて、帰路に着きました。

(3) 今後の予定（当面）

① 災害ボランティアを希望する「海老名市民向け講習会」（海老名市社協と共催）

第1回の講習会を10月25日（金）に実施した。この講習会に参加した青年が災ボラ会員と共に、10月27日（日）の相模原市津久井地区の被災地被災者支援活動に参加した。

第2回：10月28日（月）午後6時30分～8時まで、海老名市総合福祉会館

第3回：10月30日（水）午後6時30分～8時まで、海老名市総合福祉会館

② 相模原市緑区の被災地域へボランティア派遣の継続

相模原市緑区津久井地区を中心に、被災地被災者支援活動を継続する。

11月4日（月曜、祝祭日）に第3回目の相模原市の被災地被災者支援を実施した。



参加希望者を募集しているので、希望者は早めに福田まゆみ（042-752-1111）に連絡してください。講習会は11月4日（月曜、祝祭日）に実施します。海老名市に在住の方（海老名災ボラの会員を中心に募集していますが、海老名市以外の方でも参加は可能です）が参加したい方は相談に応じます。福田連絡先：メールアドレス、hima@hima.or.jp、携帯番号、090-4500-1111